

## 「おはなしの すきな ところを見つけよう」

本単元で育成する資質・能力

思考力・表現力

## 1 単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領第1学年及び第2学年の「C 読むこと」の内容に基づき設定した。学習指導要領には、以下のように示されている。

(1) ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。

## (1) 単元観

本単元では、登場人物の行動や会話文、挿絵に着目して想像を広げながら楽しんで読むことをねらいとする。その際、学習指導要領「C 読むこと」の言語活動例「オ 読んだ本について、好きなところを紹介すること」を具体化し、レオ＝レオニ作品の校内貸出冊数を増やすという課題解決のために、登場人物の行動や場面の様子を表す語句や会話文、挿絵に着目させ、登場人物に宛てて手紙を書いたり、想像を広げて音読させたりしながら、6年生に紹介するという言語活動を通して指導する。

本教材は、主人公スイミーが、知恵と勇気を発揮し、仲間と力を合わせて平和な暮らしを取り戻す物語である。また、スイミーの行動によって場面が展開していく構成、体言止めや、倒置法、比喩表現などによって場面の様子が想像を広げて読みやすい。そして、レオ＝レオニ作品は登場人物が特徴的であり、その行動や場面の移り変わりが挿絵とともに分かりやすいので、好きな場面を選んで紹介する活動に適していると考えた。

そして、1年生のこの時期に、課題解決のために視点を明らかにしながら本を紹介する活動を仕組むことで、低学年の「読むこと」の目標に迫りながら、中学年「C 読むこと」の目標である「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付ける。」ことを見通した指導を行うことができると考え、本単元を設定した。

## (2) 児童観

## 国語科の実態

本学級の児童は、平仮名と片仮名、配当漢字の読み書きを一通り終え、本読みや読書に興味・関心が高まっている。読書が好きな児童は24名全員であり、読める文が増えたことで内容のおもしろさにも気付けるようになってきた。しかし、文字の連なりを言葉としてのまとまりで認識できる児童は14名（音読の評価）であり、書かれていることが具体的にはどのような状況であるか叙述をもとに自分の知識や経験と結び付けながら想像できる児童は9名（単元テスト評価）である。

このことから、文字のまとまりを言葉として認識したり、言葉の意味を考え前後の言葉と結び付けて文脈から様子や気持ちを想像したりすることが不十分である。

## 資質・能力に関する実態

学習の振り返りでは、どんな力が身についたのかについて、学習課題や学習内容から自分の言葉で表現することができる児童は17名であり、メタ認知能力が少しずつ定着してきている。

しかし、語彙の少なさから、発表の際に、自分の考えを表す言葉を「嬉しい」「悲しい」等抽象的な言葉に限定してしまう様子が見られる。

以上のことから、自分の感情や想像を言葉にしたり、友達の考えや既習事項、自分の経験をつなげて考えたりする思考力・表現力に課題があると言える。

## (3) 指導観

レオ＝レオニ作品を並べたコーナーを教室に設置し、作品に親しめる環境をつくり、そのおもしろさを日々味わわせておくところから本単元を始める。

単元の冒頭では、教材文の好きなところを思い思いに発表させ、同時になかなか上手く伝わらない思いも持たせる。そして、土堂小学校で1学期にレオ＝レオニ作品を借りた児童が0名であったことを伝え、「こんなにおもしろいお話なのに、どうしてだろう。」と、問題意識を感じさせる。そこから、「レオ＝レオニさんの作品の好きなところを、6年生に紹介して、貸出冊数を伸ばそう」という活動目標を設定し、課題を「どうすれば好きなところが伝わるのか」とする。

家庭学習や毎時間開始時には音読を繰り返し取り組ませる。音読により、書かれていることを音声化し理解を深めたり、書かれていることを自分の経験や知識と結び付けて解釈し表現させたりすることができる。また、教材文の言葉を他の言葉と比べて比較したり、言葉の順序を入れ替えて提示したりして、印象の違いを考えさせることで、言葉にこだわって読む力を身に付けさせたい。

1学期から、物語や説明文を学んだ際、その読み方を「たからばこ」として定義付け、他教材でも活用できるよう掲示している。既習教材で身に付けた読みの力が他の教材でも活用できるよう、「たからばこ」のどの力を使って考えたのかを繰り返し問うことで、汎用的な読みの力を自覚させる。さまざまな語彙に触れさせる環境作りをすることで、自分の考えと合致した言葉を選んで使うことができると考える。感情を表す語彙表を掲示し、思考力・表現力を伸ばす手立てとする。

## (4) 単元でめざす児童の姿

- 課題解決のために、作品の好きなところを見つけて紹介しようとしている。(国語への関心・意欲・態度)
- 作品の好きなところについて、登場人物の行動や会話に着目して想像を広げて読むことができる。(読むこと)

## 2 単元の評価規準

	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
単元の 評価規準	課題解決のために、作品の好き なところを見つけて、紹介しよう としている。	作品の好きなどころについて、登 場人物の行動や会話に着目して想 像を広げて読んでいる。	言葉には、意味による語句の まとまりがあることに気付い ている。

## 3 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

レオ＝レオニ作品の貸出数を増やすために、作品を繰り返し読み、作品の好きなどころを視点に沿って紹介する活動を通して、言葉を通じて伝え合う価値を認識したり、友達の考えや既習事項、自分の経験をつなげて考えたりする思考力・表現力（スキル）を育むことができると考える。

## 4 指導計画（全12時間）

次	学習活動	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
0	朝読書の時間や休憩時間に、レオ＝レオニの図書 を読んだり、読み聞かせを聞いたりする。		
一	<p><b>ふりかえり</b> <b>課題の設定</b></p> <p>前単元の物語文の読み方をふり返る。 1学期レオ＝レオニ作品の貸出冊数が0冊であった ことを知り、たくさん読んでもらうために6年生にど うやっておもしろさを紹介すればよいかという課題を 設定し、学習活動の相手・目的意識をもつ。(1)</p>	<p>教材文の好きなどころを友達に伝えよ うとしている。 【関・意・態】(行動観察)</p> <p>問題を知り、そこから課題意識をもち、 課題解決のために内容を読みとる必然性 を感じている。【関・意・態】(行動観察)</p>	<p>学習活動のゴール である相手と目的を 明確にもち、単元の課 題を設定している。 (行動観察)</p>
	<p>【本質的な問い】レオ＝レオニ作品の貸出数を増やすには、どうすればいいのだろう。</p> <p>【学習課題】お話の好きなどころを見付ける力を身に付けよう。</p>		
二	<p><b>情報の収集</b></p> <p>題名読みをして、内容を想像する。(1) 範読を聞いて話の大体をとらえ、好きなどころを思 い思いに出し合う。(1)</p> <p><b>整理・分析</b></p> <p>叙述や挿絵に即して想像を広げながら読む。(4) 教材文の好きなどころを再考する。(本時7/12)</p>	<p>題名から、どんな内容なのか想像を広 げ考えている。【読む】(ノート, 発言)</p> <p>お話の順番を正しく読み取ることがで きる。【読む】(ワークシート, 発言)</p> <p>語のまとまりや繰り返しの表現に気を 付けながら音読している。 【読む】(行動観察)</p> <p>登場人物の行動から場面の様子や登場 人物について想像しながら視点を意識し て読んでいる。【読む】(ノート, 発言)</p> <p>言葉には、意味による語句のまとまり があることに気付いている 【言語】(ノート)</p>	<p>課題解決のために、 「もっといい方法は ないかな」「どうすれ ばいい紹介ができる かな」と問いをもちな がら取り組んでいる。 (行動観察・ノート)</p>
三	<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <p>教材文で考えた紹介の方法を使って、自分で選んだ 絵本をまとめる。(2)</p> <p><b>実行</b></p> <p>クラスの友達にリハーサルとして紹介し、評価し 合い、改善する。(1) 6年生に自分で選んだ絵本を紹介する。(1)</p> <p><b>ふりかえり</b></p> <p>お話の好きなどころの紹介の仕方をまとめる。 (1)</p>	<p>登場人物の行動から場面の様子や登 場人物について想像しながら視点を意 識して読んでいる。 【読む】(ノート, 発言)</p> <p>語のまとまりを意識したり、リズム に注意したりして、自分の作品を友達 に紹介している。【読む】(行動観察)</p> <p>レオ＝レオニ作品の良さが伝わるよ う自分の好きな場面を紹介しようとし ている。【関・意・態】(行動観察)</p> <p>本単元で学んだ物語の読み方を振り 返っている。 【関・意・態】(行動観察)</p>	
課外	単元終了後、6年生から感想をもらったり、レオ ＝レオニ作品の貸出数を図書委員会に聞いたりし て、課題が達成できたかどうか確認する。		

## 5 本時の展開 (7/12)

### (1) 本時の目標

これまで学んだことを振り返り、場面の様子や登場人物の行動に着目して、教材文の好きなところを再度見付けて話し合うことを通して、友達と学ぶ良さを実感し、3つの視点で好きなところを見付けることができる。

### (2) 観点別評価規準

場面の様子や登場人物の行動をもとに、お話の好きなところを視点に沿って見付けている。

【読むこと】

### (3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (・) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 (評価方法) 教科の指導事項 (○)
1 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>挿絵のカードを時系列に並び替えさせることで、内容の大筋をつかませられるようにする。</li> <li>本時の振り返りの項目を提示することで、メタ認知能力の育成を図る。</li> </ul>	
もう一ど、好きなところを見つけよう。		
2 本時の見通しをもち、教材文を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次1時間目で出し合った、教材文の好きなところを掲示で確認し、本時の学習を終える時には好きなところが増えるよう見通しをもたせる。</li> <li>声の強弱や速さを意識して音読できるよう指示することで、場面の様子やスイミーの気持ちを想起することができるようにする。</li> </ul>	
3 もう一度、教材文の好きなところを見付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで学習した①場面の様子②登場人物の行動③自分の経験と比べての3つの視点をもとに、好きなところを見付け直す。</li> <li>◆ 3つの視点ごとに色違いの付箋を準備することで、視覚的に視点を捉えやすくする。</li> </ul>	○ 場面の様子や登場人物の行動をもとに、お話の好きなところを視点に沿って見付けている。 【読む】(ノート)
4 自分の考えを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアで意見を交換させ、自分の考えを声に出して伝えることで、考えを整理させ、全体交流につなげられるようにする。</li> </ul>	
5 作者に手紙を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ どこに何を書くか、マス目入り黒板で提示する。</li> <li>作者への手紙を書かせることで、作品の全体を捉えて、どんなところが好きなのかを自分の言葉でまとめさせる。</li> <li>児童が選んだ作品との共通点・相違点も捉えさせることができるよう、手元に絵本を置いておくようにする。</li> </ul>	
6 まとめと振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>視点を定めて好きなところを見付けながら読むと、楽しく読むことができることをまとめることで、汎用性をもった学びを見出せるようにする。</li> <li>①本時のめあてが達成できたか②すらすら音読ができたか③友達の発表をよく聞いたかの3点を3段階で評価し、さらに分かったことを振り返ることで、身に付いた力の自覚や学習意欲につなげられるようにする。</li> </ul>	